



社会人特別選抜 専願

出願要件

2024年4月1日の時点において、次の①・②のいずれかに該当し、社会経験を有する23歳以上で、本学を専願とする者。加えて、国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合、日本語能力試験「N2」以上(「英語インテンシブプログラム」志望の場合は「N1」)に合格している者。

- ① 高等学校を卒業した者。
- ② その他本学が①と同等以上の学力があると認められた者。

注1) 国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の志望者で、「英語インテンシブプログラム」を志望する場合、「実用英語技能検定準2級」以上の有資格者に限る。

注2) 不明な点は出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。

出願期間

出願期間(締切日消印有効)	窓口受付日※	
2023年10月1日(日)～10月10日(火)	2023年10月11日(水)	9:00～15:00(守口キャンパス)

※窓口受付は出願書類の受付のみです。受付当日までにインターネット出願登録を完了しておいてください。

出願書類

- ① **志願票**
印刷したインターネット入学志願票(アップロードした顔写真が印刷されたもの)。
- ② **卒業証明書**
卒業した最終学歴校の学校長が作成し、厳封したもの。
- ③ **成績証明書**
最終学歴校の学校長が作成し、厳封したもの。
- ④ **自己経歴書**(本学所定用紙:ダウンロード)
高等学校卒業後の経歴と本学の志望理由を記入したもの。
- ⑤ **インテンシブ志望理由書**(本学所定用紙:ダウンロード) 受験方法はP15参照
国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の「英語インテンシブプログラム」・「中国語インテンシブプログラム」志望の者は提出してください。
なお、「英語インテンシブプログラム」は実用英語技能検定準2級以上の有資格者が対象です。対象者はあわせて「資格証明書(原本)」を提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)
- ⑥ **日本語能力試験成績証明書**
国際教養学部(国際コミュニケーション学科/国際観光学科)の志望者で、**日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合**、日本語能力試験「N2(またはN1)成績証明書(原本)」を提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)
- ⑦ **入学検定料免除届**(本学所定用紙:ダウンロード) 詳細はP30参照
入学検定料免除の対象となる者は、必要な証明書類を添えて提出してください。

注) 窓口受付日を除き、出願書類の提出は郵送に限ります。インターネット出願登録で印刷した宛名を用いて、簡易書留速達郵便で郵送してください。

入学検定料

30,000円

選抜方法

面接(50点満点)、および出願書類を参考に総合判定し、合否を決定します。

※国際コミュニケーション学科/国際観光学科「英語インテンシブプログラム」を志望する者は、「日本語と英語による面接」を実施します。

選抜日・選抜会場

選抜日	選抜会場
2023年10月22日(日)	本学(守口キャンパス)

合格発表日・入学手続期間

合格発表日	入学手続期間(締切日厳守)
2023年11月1日(水)	2023年11月2日(木)～11月17日(金)

社会人特別選抜の国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」受験方法

1 「英語インテンシブプログラム」

出願は実用英語技能検定準2級以上の取得者またはそれと同等の能力があると本学が認めた者が対象です。対象者はインターネット出願時に「英語インテンシブプログラム」を選択し、本学所定用紙(ダウンロード)の「インテンシブ志望理由書」と「資格証明書(原本)」を必ず提出してください。(原本は選抜日当日に返却します。)

なお、「日本語と英語による面接」を実施します。

ただし、「英語インテンシブプログラム」志望者で、日本国内での義務教育期間が9年間に満たない場合は、日本語能力試験「N1」に合格している者に限りません。対象者は上記に加え、「N1成績証明書(原本)」の提出が必要です。(原本は選抜日当日に返却します。)

2 「中国語インテンシブプログラム」

出願志望者はインターネット出願時に「中国語インテンシブプログラム」を選択し、本学所定用紙(ダウンロード)の「インテンシブ志望理由書」を必ず提出してください。

※「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

3 国際コミュニケーション学科/国際観光学科「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否

「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の合否判定は、国際教養学部の各学科における合否判定とは別に行うため、「インテンシブプログラム(英語・中国語)」の判定が不合格であっても、志望する各学科の一般生として合格することもあります。